

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 法学部 |
| 大項目 | 6 教育内容・方法・成果 |
| 中項目 | 6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 |
| 小項目 | 6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。 |
| 要素 | 学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示 |
| 小項目 | 6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。 |
| 要素 | 教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示 |
| 小項目 | 6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。 |
| 要素 | 周知方法と有効性 社会への公表方法 |
| 小項目 | 6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。 |
| 要素 | |

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|--|--|------|
| 1. 学位授与方針を策定し、学内外に周知する。 | → 「学位授与方針の策定と周知方法の検討」 | C |
| 2. 学位授与基準および修得すべき学習成果を明確化して、学生に周知する。 | → 「学位授与基準および修得すべき学習成果の明確化および周知方法の検討」 | C |
| 3. 学生間・教員学生間での双方向的授業の機会を増やすため、少人数教育科目を増やす。 | → 「少人数教育科目の数、シラバスの詳細化、履修登録率・単位取得率」 | B |
| 4. 学生の進路や学修の希望に応じて専門教育課程を再編成する。 | → 「新設科目の数、シラバスの詳細化、履修登録率・単位取得率」 | B |
| 5. 教育課程の実効性・適切性を定期的に検証する。 | → 「教育課程について学生の満足度調査の実施、カリキュラム検討委員会の開催」 | B |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
| | → | ☆ |
| | → | ☆ |

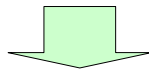
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

| | |
|------------|---|
| ☆ 小項目6.1.1 | (方針) 教育目標に基づき学位授与方針を明示する。 (現状説明) 学位授与方針について検討しているが、結論に到達するにはまだ時間を要し、目標は達成していない。 |
| ☆ 小項目6.1.2 | (方針) 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示する。 (現状説明) 教育目標に基づく教育課程の編成・実施方針については、カリキュラム改革に関する検討の成果を踏まえ目標に到達しつつある。 |
| ☆ 小項目6.1.3 | (方針) 学位授与方針および教育課程の編成・実施方針を、大学構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表する。 (現状説明) 学位授与方針の周知・公表については、検討中であり、まだ実施していない。他方、教育課程の編成・実施方針の周知・公表については、カリキュラム改革に関する検討のなかで具体化しているが、まだ実施していない。 |
| ☆ 小項目6.1.4 | (方針) 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行う。 (現状説明) 教育目標および教育課程の編成・実施方針の適切性については、拡大カリキュラム委員会およびFD研究会において定期的な検証を行っている。学位授与方針については、十分な検証が進んでいない。 |
| ☆ その他 | |

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

| | |
|-----------|--|
| 小項目6.1.1 | |
| 小項目6.1.2 | |
| ★小項目6.1.3 | |
| 小項目6.1.4 | |
| その他 | |



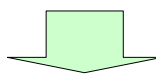
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

| | |
|-----------|--|
| 小項目6.1.1 | |
| 小項目6.1.2 | |
| ★小項目6.1.3 | |
| 小項目6.1.4 | |
| その他 | |

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

| | |
|-----------|--|
| 小項目6.1.1 | |
| 小項目6.1.2 | |
| ★小項目6.1.3 | |
| 小項目6.1.4 | |
| その他 | |



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

| | |
|-----------|--|
| 小項目6.1.1 | |
| 小項目6.1.2 | |
| ★小項目6.1.3 | |
| 小項目6.1.4 | |
| その他 | |

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

| | |
|-----------------|--|
| ★ その他 (自由記述) | |
|-----------------|--|

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○6.1.1「学位授与方針」は学部教育の要諦なので、早急に検討・公表することが望まれます。これが確定しないと、次項以下の教育課程編成や教育方法の策定の際に依拠すべきよりどころが薄弱と判断されます。

【学内委員】

○教育目標は明示されているが、学位授与の方針は明示されていないと記述されている。学位授与の方針は、教育目標とともに、教育課程の編成・実施方針の基礎となっているので、検討を急ぐことが望まれます。

○「C」評価の項目については改善方策についての記述があることが望ましいと思われまます。

○小項目6.1.1と6.1.2の(方針)は、策定中であれば「策定中」の記載で結構です。

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 小項目6.1.1の（現状説明）については、学位授与方針の策定に向けて検討を進めているところである。小項目6.1.1の（改善方針）として、法学部の教育目標との体系的・整合性に留意しつつ、学位授与方針の内容の具体化を図る作業を行う。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

| | |
|----------|---------------------------------|
| 6.1.0.S1 | カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度 |
| 6.1.0.S2 | MDSプログラム履修者の全学生に占める割合 |
| 6.1.0.S3 | ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合 |
| 6.1.0.S4 | 専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数 |
| 6.1.0.S5 | 必修・選択ごとの開設授業科目数 |
| 6.1.0.S6 | 系列別卒業必要単位数 |

<個別的な指標>

| | |
|--|--|
| | |
| | |